



協和地区準備委員会だより

発行：筑西市義務教育学校・協和地区準備委員会

第1号

義務教育学校・協和地区準備委員会を発足しました



令和7年2月7日、協和地区義務教育学校の開校を目指して、自治会や各種団体、保護者、教職員のメンバーで構成される「義務教育学校・協和地区準備委員会」を発足いたしました。

子供たちにとってより良い教育環境を整備するため、学校関係者及び地域のみなさんのご意見をお聞きしながら、検討を進めてまいります。みなさんのご理解とご協力をお願いいたします。

準備委員会の構成

委員長：藤田 隆（自治会連合会協和支部長）

副委員長：兼村 匡人（協和中学校保護者）

準備委員会の委員

自治会	支部長、副支部長	6名
各種団体	代表者	8名
保護者	保育施設・小学校・中学校	22名
教職員	校長・教頭	8名



準備委員会の役割と検討事項

準備委員会に3つの専門部会を設置し、それぞれ下記の事項について検討していきます。

専門部会	検討事項
総務部会	学校名・校章・校旗・校歌など
P T A 部会	通学方法（スクールバス）、通学路、制服など
学校運営部会	学校運営方針や教育課程、備品等移転、学校間の交流事業など

課題と方向性を地域のみなさんと共有するため、検討状況を市ホームページや準備委員会だよりをとおして、随時お知らせいたします。

保護者説明会・住民説明会が開催されました



協和中学校区の義務教育学校に関する説明会が、6月24・25日に保護者向け、29日に住民向けに開催され、79名の参加がありました。

教育委員会から、これまでの検討内容や「協和地区義務教育校整備事業 基本構想・基本計画（案）」などについて説明があり、参加者からは、「途中で学校が変わることになる子供たちに配慮してほしい」、「明野五葉学園の成果を踏まえて進めてほしい」などの意見がありました。



「協和地区義務教育学校整備事業 基本構想・基本計画」が策定されました



市では、協和中学校区におけるより良い教育環境の整備を目指し、施設一体型義務教育学校の整備に関する基本的な方針を明らかにするための「協和地区義務教育学校整備事業 基本構想・基本計画」を策定しました。

整備スケジュール

年度	R 7	R 8	R 9	R10	R11	R12
基本設計・実施設計	■	■	■			
本工事			■	■	■	
開校準備						■

開校

施設整備の基本方針

① 小中一貫教育に適した機能的でコンパクトな施設

- ・最善な校内動線を検討したまとまりある施設配置
- ・児童生徒間の交流を適切に行える交流拠点
- ・9年間の系統性ある教育を連携して行える管理関係室

② 誰もが明るく快適に過ごせる施設

- ・内装材の木質化等、温かみと潤いのある教育空間
- ・バリアフリー化、ユニバーサルデザインの導入
- ・ニーズに応じた多様な学びの場

③ 確かな学力を育む施設

- ・多様な学習形態に対応し、主体的・対話的な学びが可能な施設
- ・きめ細かい指導を行える学習環境
- ・ICT技術を活用でき、技術の進展に対応する環境

④ 安全・安心で維持管理のしやすい施設

- ・自然災害に対して安全性を確保した災害に強い施設
- ・全体的な防犯計画を検討し、児童生徒及び教職員が安心して過ごせる施設
- ・安全なスクールバスの動線や乗降場の計画
- ・ライフサイクルコスト（LCC）縮減、維持管理のしやすい施設

⑤ 将来の公共施設複合化を見据えた施設

- ・将来的な学びの変化や児童生徒数の減少等に柔軟に対応できる施設
- ・施設の一部を地域に開放できるような施設配置
- ・将来的に、地域の生涯学習やコミュニティの活動の場としても利用が可能な施設配置

「基本構想・基本計画」の詳しい内容については、市ホームページでご確認ください。



ご意見をお寄せください

右の二次元コードから送信していただくか、協和コミュニティセンターに設置してある用紙にご記入のうえ、ご意見箱に投函してください。
いただいたご意見は、今後の協議の参考とさせていただきます。

